

氏名	檀 浦 智 幸
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2407号
学位授与の日付	平成14年3月31日
学位授与の要件	医学研究科病理系病態遺伝子解析専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Apoptosis and expression of its regulatory proteins in soft tissue sarcomas (軟部肉腫におけるアポトーシスとその調節タンパク群の発現)
論文審査委員	教授 岡田 茂 教授 榎野 博史 教授 阿部 康二

#### 学位論文内容の要旨

軟部肉腫におけるアポトーシスの発生とその臨床的な関連についてはよくわかっていない。我々は軟部肉腫 102 例において TUNEL 法によるアポトーシスの検出とその調節因子である Bcl-2、Bax、p53 タンパクの免疫組織化学的検索をおこなった。アポトーシスインデックスは 0～15%、平均値 1.9%と低値であった。Bcl-2、Bax、p53 タンパクの免疫組織化学において腫瘍細胞陽性率の平均値はそれぞれ 32.1%、40.8%、20.3%であった。アポトーシスの程度と Bcl-2 タンパクの発現は腫瘍の組織型で異なり、アポトーシスインデックスは脂肪肉腫で有意に高く、Bcl-2 タンパク発現は滑膜肉腫で有意に高かった。本研究は軟部肉腫では初めてアポトーシスインデックスと Bcl-2 タンパクの発現との逆相関を明らかにした。しかしこれ以外にアポトーシスの程度およびその調節タンパクの発現と予後との間には有意な相関を認めなかった。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、軟部肉腫 102 例において TUNEL 法によるアポトーシスの検出とその調節因子である Bcl-2、Bax、p53 タンパクの、免疫組織化学的検索をおこなった。その結果、軟部肉腫では初めて TUNEL 陽性率と Bcl-2 タンパクの発現の逆相関を明らかにした。これはこれまでのデータの少なかった軟部腫瘍のアポトーシス関連の研究を一步進めたものである。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。